

# 玉垂

たまだれ  
No.35



神幸祭の先頭を進む「お先面役」(平成24年4月15日)

<http://www.okunijinja.or.jp>

## 初夏を迎えて

当社の春は花で満ち溢れ、特に日本人が好きな桜は、河津桜、染井吉野、枝垂れ桜、八重桜等が順次境内でお楽しみ戴いております。境内に枝垂れ桜は約三十本ありますが、近年成長が著しく順調なのが記念館北側にある「滝桜」の子孫樹です。滝桜と言えばご存じの福島県・三春の紅枝垂れ桜です。樹齢推定千年を越えているといわれ、四方に広げた枝から薄紅の花が流れ落ちる滝のように咲き匂う国の天然記念物です。昭和六十年頃に三春町の伝統ある種苗農家の柳沼ハナさんから譲り受けて植樹したものです。当時は三年間で三十本程植えましたが、現在はその内の七本が無事に育っております。一方、昨年の暮れに門前に奉納された枝垂れ桜も新芽が芽吹きました。専門家によると四〜五年程で、かなり観賞できる花芽を持つとのことですから楽しみです。将来は信州伊那谷にある舞台桜や安富桜のように呼称で呼ばれ、歴史に語られるような名物一本桜となつて頂きたいものです。

さて、四月十四日(土)午後三時、晴れて新東名が開通となりました。実施計画が発表されて以来、関係者にとっては様々な厳しいハードルを乗り越えての竣工であったことと存じます。顧みますと、当社の氏子地区では家屋等の移転をされた方が多数ありましたし、農地、茶園等が収用された方もおられました。開通した現在、当社に近い森町PAから周囲を望むと今までにない町の景観があり、やはりすごい構造物が出来たと実感します。道は人や物を運んでくれますが、情報、文化等をも運びます。さらにこの機会に、当社への表参道では「明神通り振興会」が結成され、早速活発な活動を展開しています。旧来型の組織とは違い、前例に縛られない獨創性を保ち、参拝者の立場に立ったきめ細やかな事業を期待しております。

四月上旬までは肌寒い気候でしたが、五月に入り気温が急速に上がつてまいりました。開園五十二年目を迎える花菖蒲園では、開花が格段と進んでおります。水無月晦日には夏越の大祓を斎行いたしますので、是非皆様方のご参拝をお待ちいたしております。

### 例祭の斎行

四月十四日（土）より十八日（水）に亘り、例祭及び諸祭典・神賑行事が滞りなく執り行われました。

本年の勅使行列では、当社崇敬奉賛会会長であります、鈴木覺氏代表取締役社長の鈴木覺氏を勅使役としてお招きし、ご奉仕をいただきました。

十四日は、午前九時より献詠祭、午後二時より氏子入り奉告祭が斎行され、拝殿前の舞殿では国指定重要無形民俗文化財の十二段舞楽が奉奏されました。翌十五日には、神輿渡



宮司以下奉仕者の参進（4月15日）



勅使役・鈴木 覺氏（4月15日）

御や稚児行列が行われ、神幸所では森町指定無形民俗文化財の巫女舞が奉奏されました。また、境内では新茶の手揉みの実演・弓道愛好家による大弓会が催され、終日参拝者にて賑わいました。

さらに、十七日は前日祭、ご縁日であります十八日は午前十時より例祭が斎行され、静岡県神社庁長・富知六所浅間神社宮司櫻井豊彦様を始め、日本画家・鳥居禮様など二〇〇名を越える大勢の皆様のご参列を戴き、厳肅且つ盛大裡に斎行いたしました。



森町指定民俗文化財・巫女舞の奉仕（4月15日）



神幸祭の神輿渡御（4月15日）



稚児行列奉仕者の皆様（4月15日）



国指定重要無形民俗文化財・古式舞楽「陵王」（4月15日）

古式舞楽奉仕者御芳名

(敬称略)



平成24年 舞楽人一同 (4月14日)

指南役	白幡	富幸	色	香	朝比奈	齊
副指南役	大場	篤	鈴木	勝浩	西尾	健
行事	天野智加志	廣一	天野	徳重	西尾	健
師匠	小澤	詞信	嶋田	秀邦	天野	徳重
	大藤	明廣	白幡	磨彦	嶋田	秀邦
	内藤	誠	岩瀬	公紀	嶋田	秀邦
	高木	勝幸	西尾	満雅	嶋田	秀邦
	鶴見	俊之	成瀬	満雅	嶋田	秀邦
師匠	鶴見	俊之	成瀬	満雅	嶋田	秀邦
衣蒙方	小林	春久	佐野	泰隆	嶋田	秀邦
稚児	大場	隼磨	野口	雅人	嶋田	秀邦
太平楽	嶋田	拓真	鈴木	章夫	嶋田	秀邦
	鈴木	優	鶴見	和弘	嶋田	秀邦
	小池	竜矢	塩澤	太佳夫	嶋田	秀邦
	村上	徹也	鈴木	裕也	嶋田	秀邦
	菅沼	千颯	内山	敬浩	嶋田	秀邦
	菅沼	千颯	内山	敬浩	嶋田	秀邦
	菅沼	千颯	内山	敬浩	嶋田	秀邦

太平楽・稚児舞・巫女舞 奉仕者御芳名 (敬称略)



巫女舞

〈左から〉  
大場 千結・山下穂野花  
小川 紗椰・山下実華



稚児舞

〈右から〉  
建部 春久・大場 隼磨  
嶋田 拓真・鈴木 優



太平楽

〈右から〉  
小池 竜矢・村上 慎  
村松 徹也・菅沼 千颯

ヲク発動機(株)森町工場  
 (株)鈴木長十商店  
 (株)オクスコボレシヨ  
 かんなび  
 (株)久米吉  
 (株)太田茶店  
 保食や  
 青木恒産  
 デイフフラット  
 佐野篤工業  
 山田建設  
 木創工房 森童  
 (有)ナガタ  
 スリーツリースゆう成  
 清水商店  
 サンワ環境整備(株)  
 (株)デイトナ  
 (株)大塚彫刻工芸  
 高木建築  
 高木工業  
 森のどうぶつ病院  
 (有)森町ゆらら  
 (株)ビップ  
 (有)萩原造園  
 (有)タカギ商会  
 鈴伍酒店  
 理谷タカギ  
 森のびようしつ  
 一宮米店  
 あしかび  
 フナギテックン(株)  
 三木の里カントリークラブ  
 一ノ宮郵便局  
 松田歯科医院  
 入鹿ハム  
 (有)アマノ  
 (有)今泉土木  
 (有)大井製作所  
 加藤修土地家屋調査士  
 ユーシン(株)  
 (株)アコルトパッケージ

カルト(株)  
 (株)オーキッド  
 亀山 銀男  
 共栄土建  
 (株)日本塗装工業  
 (株)袴田製作所森町工場  
 エムケイデンキ  
 百々や  
 (株)ハマネツ森工場  
 深井無線工業(株)森工場  
 (有)アカネ造園土木  
 (有)一木機械店  
 日本工機(株)  
 大岡アミスター(株)静岡工場  
 晩雲窯  
 (株)ラレストカントリークラブ  
 鈴木土建(株)  
 業匠 あさおか  
 ビーティサロンカヤナギ  
 高柳米穀店  
 旭自動車  
 (有)富士鉄工  
 (有)大寶建設  
 松ヶ谷診療所  
 (有)渡辺防水工事  
 (有)遠州ホテイ  
 カットハウスオオタ  
 野口園  
 さくら水道  
 鈴木農園  
 (有)ヤマニシ建築  
 あさひな(株)  
 (株)伸孝  
 (有)朝比奈造園  
 (株)鈴木建築  
 (有)西尾工務店  
 (有)朝比奈造園  
 遠州中央農協園田支店  
 長岡香料(株)静岡工場  
 サウンド機販(株)静岡工場  
 (有)加藤はつり工業  
 (有)北島電気工業

雪洞 献燈御芳名 (敬称略・順不同)

(有)桜井工業所  
 (有)守屋モーター  
 (有)ムラマツ住建  
 内山商会山梨店  
 山本フミコ美容室  
 たけしの店  
 (株)大雄工業  
 西村医院  
 びあたウシヤトー中川  
 金山化成(株)シズオカ工場  
 ヤスマ(株)静岡工場  
 (株)山本環境整備  
 かねとよ(株)  
 (株)ツカモト  
 (有)栄産業  
 杉本金属工業(株)  
 田中屋酒店  
 (有)金原石油  
 (株)家本工務店

御神燈奉献御芳名 (敬称略・順不同)

(株)三愛工業  
 (株)阿部  
 倉見建設(株)  
 (株)さのや会館  
 みどり写真館  
 小國ことまち横丁  
 榛業工業  
 (株)小倉商店  
 春日屋青果店  
 セコム(株)磐田支社  
 (有)アサインオフィス  
 エム・エス・シー  
 (株)村上社寺工芸社  
 (株)晃和製作所  
 魚太

## 献茶祭の齋行

四月二十四日(火) 午前十時三十分より献茶祭を齋行いたしました。

この献茶祭は、小國神社献茶会が茶業の振興を祈り、神饌(お供え物)としてお茶を献上する祭典で毎年四月下旬に行われます。当日は、森町茶商組合組合長・献茶会会長鈴木康之様を始め森町長村松藤雄様また、大勢の茶業関係の皆様がご参列される中、黄檗弘風流中山弘薫様・紋谷弘光様のお手前により点てられた煎茶がご神前に献じられ祭典は滞りなく齋行されました。尚、献茶会では毎月一日の当社月次祭にお茶を神饌として献上されています。



煎茶道黄檗弘風流 中山弘薫先生(左)・紋谷弘光先生(右)

## 端午祭の齋行

五月五日の「こどもの日」に当社で命名をいたしましたお子様に参列いただき端午祭を齋行し、お子様の無事な成長を祈念いたしました。祭典後には、境内で育てた菖蒲とよもぎ、柏餅等を授与いたしました。

昔から、菖蒲とよもぎはこの時期の祓具とされ、ちまきや柏餅を食べ、菖蒲湯に入り邪気を祓い病気や災厄を避けることが行われていました。また、菖蒲は漢字で尚武に通じることから、江戸時代に男の子の武勇を祝う日となり、滝昇りの鯉にたとえ立身出世を祈るようになったとされています。



端午祭にて菖蒲の授与 (5月5日)

## 本宮山青葉祭の齋行

五月六日(日) 午前十一時、穏やかな気候の中、本宮山の頂上に鎮座します奥磐戸神社にて、本宮山青葉祭が齋行されました。本年の祭典では六十名余りの登拝者にご参列をいただき、甘い香り漂う黒文字の若木で飾られた御本殿に玉串を上げられました。祭典後、庁屋にて鈴木三千雄責任役員の乾杯により、古式神酒のどぶろくと鯉の刺身などにて直会が行われました。青葉に包まれた本宮山にて、この時期ならではの新鮮の景色をお楽しみいただきました。



本宮山青葉祭ご参列の皆様 (5月6日)

## 舞楽保存会「第14回地域伝統芸能まつり」出演

二月二十五日(土)・二十六日(日)の二日間に亘り全国の芸能が一堂に集まり、地域伝統芸能等の再認識・保存活用・地域の活性化を図る「地域伝統芸能まつり」がNHKホールにおいて開催され、当社の古式舞楽保存会が出演をいたしました。当保存会は第二日目の出演となり、「太平楽」・「陵王」・「抜頭」及び「ザットラボウ(座頭の坊)」の演目を解説を交えながら実演いたしました。

このフェスティバルは、十二回目を迎え静岡県としては初めての出演となりました。今回のテーマは「縁(えん)」と謳われ、地域伝統芸能等を通じ全国各地の方たちが大きな絆で結ばれ、有意義な参加となりました。



出演後に女優・竹下景子さんからインタビュー(2月26日)

### 明神通り振興会の結成

四月十四日に新東名が開通し、森掛川インターを利用して大勢の方たちが森町を訪れていただけることに期待がよせられています。また、二年後には当社に程近い森町パーキングにスマートインターが開設されます。この度開通を記念し、当社より南に下った交差点(谷崎交差点)を起点とし第一鳥居までの参道を、古くは当社の御祭神が「小國大明神」と称されたことから、「明神通り」と名付け、この通りに店舗を構える方々が地域の興隆を図るため「明神通り振興会」を結成いたしました。

新東名の開通に合わせて、案内マップを作成するなど会員が協力しつつ、各店舗独自のイベントやサービスで参拝



明神通りのパンフレット



新東名・遠州森町パーキングエリア (上り線)

者をお迎えいたしました。今後は、神社門としての風格をさらに高め、会員の拡充を図り、地域及び森町全体の発展に寄与するべく充実した活動の展開を期待しております。

### 神政連静岡県本部 周智支部大会



周智支部神社関係者大会にて 國學院大學大原康男教授の講演 (3月7日)

復興の願いを込めた「漢字一文字」の書にて作られた三万点余りの「行灯」は、四月に石巻市に届けられました。(右 杭迫柏樹先生書の行灯)



### 古代の森シリーズ 35

#### ― 矢場 ―

矢場とは、弓術の練習場を意味し、弓場(ゆば)的場(まとは)とも言われ、弓道場のことを指します。

現在の安土(弓を射る際に的を掛ける場所)は、射場の間口に合わせ、的を幾つも掛けられるよう横長に作られ屋根が設置されているものが一般的ですが、当社の矢場は土や砂を山形に盛って築く、古い形態の安土にて作られており、文化財的価値があるものと言えます。

また、当社は毎年一月十七日に御弓始祭が行われています。先ず、八王子社の神事は、神池のほとりにある的を宮司が二手半(五本)射ります。その後、本社にて御弓始祭を執り行い、舞殿東側の射場にて奉射神事を行います。地射手は、太郎・二郎・三郎二名の四名にて、室町時代から続く日置流の流儀にて行います。その後、矢場にて県内外より集まった弓道愛好家の皆様により競射が行われます。この競射にて見事、金的に的中された方は、神前に報告し金的的中額を奉納しています。



参道脇にある「矢場の安土」





「小國の杜・点描」



八重桜と新緑 (4月25日)



斎館北の枝垂れ桜 (4月17日)



大宝殿のしゃくなげ (4月17日)



宮川沿のやまぶき (4月17日)



境内のみやまつつじ (4月17日)

平成二十四年六月一日  
 「玉垂」(たまだれ) 第三十五号  
 題字揮毫 神社本廳元総長 工藤 伊豆  
 発行 小國神社社務所  
 郵便番号 四三七〇二二六  
 住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一  
 電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二  
 FAX 〇五三八(八九) 七三六七  
 印刷 (有)デザインオフィス エム・エス・シー

表紙写真について

平成二十四年四月十五日(日)午後二時三十分、神輿渡御行列の先導をご奉仕する「お先面役」を撮影いたしました。代々の菅沼家にて継承され、親子にて大櫓をもって祓い清めます。

○『玉垂』三十五号をお届けいたします。例祭関連を主に報告させて頂きました。四月十四日午後三時に新東名が開通となり、翌日には県外ナンバーの車輛が参拝者駐車場に目立つ様になりました。時季折々の自然を満喫して戴ければ幸いです。  
 ○本年は日本最古の歴史書である『古事記』が編纂されてから二二〇年にあたります。先日、欧州のチェコでは『古事記』のチェコ訳が出版されたそうです。是非、この機会に読み親しんでみてはいかがでしょうか。

編集後記



勅使行列の子供たるみこし (谷崎地区子供会) (4月15日)